

萩野小学校開校150年記念「萩野ふれあいYEAR2022」実行委員会だより

ふるさと萩野

令和5年3月発行

第15号

発行：実行委員会事務局
(萩野小内)

皆さん、大きな感動をありがとうございました！！

～萩野小学校開校150年記念「萩野ふれあいYEAR2022」を終えて～

実行委員会会長 青木 信行



萩野小学校のランチルームに入りますと、舞台前方の壁面に、なかむらひろこさん（下山地区在住のイラスト레이ター）作のふるさと萩野マップ「萩野小学校区 伝えていきたい ふるさとの宝」が目に飛び込んでいます。早いもので、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの年間行事としてスタートしました「萩野ふれあいYEAR2022」も、昨年11月12日に開催しました「150年記念式典」を頂点に間もなく幕を閉じます。

晴れ男ではありませんが、秋晴れに恵まれた「150年記念式典」も、地域住民や同窓生、企業の皆さん方の絶大なるご支援とご協力のお蔭をもちまして、盛大に開催することができました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

思い返せば、今から2年半前の令和2年4月7日、当時の自治区3役（青木信行区長・山本薰久副区長・村瀬耕司会計）で萩野小学校開校150年の目標（ねらい）や工程（進め方）について下相談を行い、意見のすり合わせや意思統一を図ったことで、開催準備に向けての口火が切られたと記憶いたしております。交わした意見は様々で、「単なる一過性のイベントではなく、将来を見据えた意義あるものにしよう。萩野小学校、萩野地域こそが私達の「ふるさと」であり、私達で守り、慈しみを存続させていこう。先人の心を継承し、未来への『道標』（みちしるべ）となる価値あるものにしよう。ふるさとを愛し、地域住民が明るい未来を切り拓く活力を生みだす契機にしよう」。記念誌も、「開校150年の沿革はもちろん、地域の歴史・文化・自然・動植物など萩野地区の全てを詰め込んだ郷土自慢の物語風にしよう。子どもたちの教本にも使え、いつでも気楽に楽しく読んでいただけるものにしよう。この記念誌づくりで集まった資料をもとに、学校内に常設の「（仮称）萩野博物館」も開設し、子どもたちがいつでも郷土の自慢に触れて学べるようにしよう」。実行委員の選出も、「肩書のお役ではなく、公募と推薦（人物本位）により、各分野から有志に参画してもらおう」等々、互いに思いや意見をぶつけ合いながらも、熱く楽しい時間であった思い出されます。

残念なことは、学芸会での高学年による伝統の「萩野子供歌舞伎」が最終公演になったことです。学区の怒田沢町にある農村舞台寶榮座で古くから行われてきた村歌舞伎を受け継ぎ、住民指導のもと36年間続いてきたものであります。児童数の減少で伝承が難しくなり、吉田校長とも相談の上、今回で舞台の幕を下ろすことにいたしました。まさに、熟慮に熟慮を重ね、悩み悩んだ末の決断でありました。

他方、心強いことに、萩野小学校の先生方が労を惜しまず、実に「一所懸命」力を注いでいただいたこと、何かと地域をサポートしていただいたことなど、大いに助かりました。まさに、地域と学校の両輪が創り上げた「祝開校150年のメモリアル成功道」ではなかったかと強く受け止めております。

また、たくさんの方々から「素晴らしいよ！」「良くやりましたね！」「記念誌がすごいですね！」等々異口同音に称賛のお言葉も頂戴いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた会合や活動が実施できず、厳しい船出でしたが、コロナが収束することを願いつつ周到に準備を進めてきました結果が、こうした多くの皆様方からの賞賛や感謝の声に繋がったことが何よりも喜ばしい限りであります。

いずれにいたしましても、実行委員52の瞳が結束し、地域と学校の連携の底力を發揮した、素晴らしい出来事(萩野小学校開校150年記念祭「萩野ふれあいYEAR2022」)として、萩野地域の歴史の延長線上に大きな足跡を残したことに間違いありません。

実行委員会は令和5年(2023年)3月31日で解散となります、皆さんの「言動力」は地域の誇りとして、永遠に語り継がれることを確信いたします。

“萩野”の素晴らしさを再認識！

～萩野小学校開校150年記念「萩野ふれあいYEAR2022」を終えて～

萩野小学校 校長 吉田 修



本年度は、「萩野ふれあいYEAR2022」の実施に伴って、多くの学校行事を地域連携、地域参加型として実施し、そして新たな活動も取り入れてきました。三角山登山、スポーツフェスティバル、ニュースポーツ教室、川に親しむ会…等。コロナ禍に翻弄され、様々な制限がある中での実施は、難しい面も多くありましたが、可能な限り事業を実施することができました。

この年間を通した事業で、萩野地域の自然の豊かさ、歴史と伝統の奥深さ、そして何よりの地域の方々の温かさを再認識することができました。そして、「萩野ならできること」「萩野しかできないこと」が多くあり、恵まれた環境や小規模校の特性を生かした地域ぐるみの教育の大切さを痛感しました。また、少子高齢化が進む中、地域活動の核・拠点としての学校の存在の大きさ、地域活性化の鍵を握るのが学校だと感じました。

子ども達も、たくさんの地域の方々との交流や体験的な活動を通して、萩野の良さを体感することで、「ふるさと萩野」への愛着や誇りを醸成することができました。一方、地域の方にとっても地域の次世代の育成を図る上でよい機会になったと思います。ここ萩野には、理想的な地域ぐるみの教育を実現するための基礎がしっかりと在ることを実感しました。

引き続き、学校・地域が相互理解上に緊密に連携し、それぞれの役割を果たしながら、この「萩野ふれあいYEAR2022」の成果を学校教育に活かしていくことで、本事業の価値をより高めていきたいと思います。今後も本校の教育活動にご理解ご支援いただきますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

「萩野ふれあいYEAR2022」実行委員会 事務局

豊田市立萩野小学校内(担当:教頭)

TEL 62-0214 FAX 62-2448

学校HP
携帯サイト

